

令和3年度援護関係予算概算要求の主要事項

	【2年度予算】	【3年度要求】
援護関係予算総額	21,700百万円	→ 20,833百万円
1 援護年金	6,020百万円	→ 5,118百万円
	(受給人員 3,500人 → 3,009人)	
2 戦没者等の遺族に対する特別弔慰金の支給	1,069百万円	→ 1,084百万円
支給事務経費の増 〈支給対象件数〉		
・戦没者等の遺族に対する特別弔慰金	約85万人	
・戦傷病者等の妻に対する特別給付金	約6百人	
3 遺骨収集事業等の推進	3,004百万円	→ 3,042百万円
(1) 遺骨収集事業	2,433百万円	→ 2,367百万円 ※
(2) 海外公文書館の資料収集	17百万円	→ 17百万円
(3) 遺骨の鑑定	521百万円	→ 623百万円
ア 鑑定実施体制の充実	247百万円	→ 304百万円
(新) 分析ラボの設立準備		
・DNA鑑定の充実		
イ 戦没者遺骨に関する研究の推進	274百万円	→ 319百万円
・次世代シーケンサによるSNP分析に係る研究委託		
・形質人類学的鑑定に係る研究委託		
・DNA鑑定に係る研究 ※科研費		
・安定同位体比分析に係る研究		
(4) 遺骨・遺留品の伝達	33百万円	→ 35百万円
※ コロナ禍の下において遺骨収集事業等を推進するために必要となる経費を、別途、事項要求。		

4 戦没者慰霊事業等	<u>595百万円</u> → <u>605百万円</u> ※
(1) 全国戦没者追悼式挙行経費	163百万円 → 173百万円
(2) 慰霊巡拝等	433百万円 → 431百万円
ア 慰霊巡拝	98百万円 → 99百万円
イ 政府建立慰霊碑の補修等	54百万円 → 53百万円
ウ 海外・国内民間慰霊碑の管理	22百万円 → 20百万円
(ア) 海外民間建立慰霊碑	10百万円 → 10百万円
(イ) 国内民間建立慰霊碑	12百万円 → 10百万円
エ 慰霊友好親善事業	259百万円 → 259百万円
5 昭和館・しょうけい館事業	<u>646百万円</u> → <u>678百万円</u> ※
(1) 昭和館	470百万円 → 459百万円
(2) しょうけい館	177百万円 → 219百万円
6 中国残留邦人等の援護等	<u>9,986百万円</u> → <u>9,961百万円</u> ※
(1) 中国残留邦人等に対する支援等	9,816百万円 → 9,802百万円
ア 支援給付の実施等	9,777百万円 → 9,763百万円
イ 中国残留邦人等の介護に係る環境整備	39百万円 → 39百万円
(2) 抑留者関係資料の取得及び特定作業関係	110百万円 → 120百万円
(3) 戦没者等援護関係資料の移管・整備	60百万円 → 40百万円

※ コロナ禍の下において遺骨収集事業等を推進するために必要となる経費を、別途、事項要求。

(百万円単位で四捨五入しているため、各欄の増減が一致しない場合がある。)